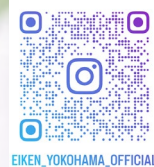


2025年
9月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

衛研インスタ
始めました！



EIKEN_YOKOHAMA_OFFICIAL

今月の感染症流行状況

⚙️ 注意

今後流行の可能性がある

流行中

大流行

疾患名	流行状況	説明
新型コロナウイルス感染症	⚙️ 注意 	6月中旬以降、患者報告数が増加 報告は10歳未満と50歳代が多い
百日咳	やや減少 	8月上旬をピークに報告数が若干減少
腸管出血性 大腸菌感染症	注意 	気温が高くなる季節に患者数が増加 する疾患、7月から患者数がさらに増加
麻しん(はしか)	市内での報告 	国内での感染と推定される

今月のトピック

腸管出血性大腸菌感染症を予防しよう

01 感染経路

- 毒素を産生する腸管出血性大腸菌による感染症です
- 発症すると腹痛、下痢、血便などが起こります。

菌で汚染された
食べ物・飲み物



菌を持っている
生き物と触れ合う



主な感染経路は、左記の2点。
ヒトからヒトへも感染するため
注意しましょう。



Eiちゃん

02 予防策

＼流水と石けんで行おう／



こまめな手洗い

＼中心温度75℃で1分以上／



食品の加熱

＼食品の水洗い、器具の消毒／



衛生的な取り扱い

詳しくはこちら 



横浜メディカル
ダッシュボード



暑い日が続きます。「熱中症」にも注意、こまめに水分を補給しましょう。

横浜市感染症情報センター 9月16日発行

厚生労働省ホームページ
腸管出血性大腸菌Q&A